

百人一首をやってみよう	
3年生	1月18日（木）・1月26日（金）
ねらい	・百人一首の専門家の先生方とコミュニケーションを図りながら、日本語の美しい表現やリズムに触れることができる。

授業の流れ

日時	活 動 内 容
1月18日 第2校時	1 先生方にかかるた取りのやり方やルールの説明を聞く。 札の並べ方、決まり字で取れる札を教わる。 2 二人組になり、実際に百人一首をやってみる。20枚の札を並べ、徐々に覚える札の枚数を増やしていきながら練習する。   
1月26日 第4校時	3 宿題や学級の時間を利用し、20首の音読や、かるた取りの練習を行う。 4 前回の体験を思い出しながら、先生方の指示に従い、覚える枚数をさらに増やしながらかるた取りに取り組む。 5 飛ばしたかるたを取りに行く作法や、あいさつの作法などもしっかりと身に付ける。  
【授業を終えて】 ・札の覚え方を教えてもらいながら練習を繰り返し、少しずつ札を増やしていくので、歌を覚えていない児童もスムーズに参加することができた。 ・ボランティアの方が読み札を読んでもくださるので、抑揚のある日本語の美しさを感じることができた。 ・宿題や学級の時間を利用して覚えた児童も多く、すばやく札を取ることができる児童が多く、かるた取りを楽しむことができた。	